

ウォッチ 操作ガイド 5746

CASIO®

目次

安全上のご注意

本機について

- 各部の名称
- 文字板と画面の表示
- モードを切り替える
- 時刻モードの表示を切り替える
- 針を一時的に移動する
- 充電する
- 暗い所で時計を見る
- 本機の便利な使い方

スマートフォンと一緒に使う

- 準備する
- 時計の時刻を自動で合わせる
- ストップウォッチのデータを見る
- ワールドタイムを設定する
- 針の位置を補正する
- スマートフォンを探す
- 時計の各種機能を設定する
- ホーム都市のサマータイム設定を切り替える
- 時計の充電量を確認する
- 訪れた場所を記録する(タイム&プレイス)
- 接続
 - 時計とスマートフォンを接続する
 - 時計とスマートフォンの接続を解除する
 - ペアリングを解除する
 - スマートフォンを買い替えたとき

時刻を合わせる

- 時計を操作して時刻を合わせる
- 病院内、飛行機内で使うとき

ワールドタイム

- CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する
- ワールドタイムを確認する
- ワールドタイム都市を設定する
- ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻を入れ替える
- 海外に渡航するときは

アラーム

- CASIO WATCHES でアラームをセットする
- アラームをセットする
- 時報をセットする
- アラームや時報を解除する
- アラームのカウントダウン表示

ストップウォッチ

- スプリットタイムとラップタイムについて
- 計測する
- スプリットタイムを計測する
- ラップタイムを計測する

タイマー

- CASIO WATCHES でタイマーをセットする
- 時間を設定する
- タイマーを使う
- タイマーのカウントダウン表示

針の補正

- CASIO WATCHES で針の位置を補正する
- 針の位置を補正する

その他の設定

- 曜日表示の言語を設定する
- カウントダウン予告音をオフにする
- ボタンの操作音を設定する
- パワーセービング機能を設定する
- 時計の設定をリセットする

仕様一覧

補足

- 都市一覧
- サマータイム期間一覧
- 対応するスマートフォン
- 商標、登録商標について

困ったときは

注意事項

- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 本製品で使用している電池について
- 金属バンドの駒詰めについて
- モバイルリンク機能に関する注意事項
- 無線に関するご注意

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

❌ 記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は分解禁止)。



⚠ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



ⓘ 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。
発熱、破裂、発火の恐れがあります。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

●他の電子機器への影響について



病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。



高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。



心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。



満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

注意

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

本機について

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

本製品の特長

● スマートフォンと通信

Bluetooth 対応のスマートフォンと接続し、通信することができます。

● ワールドタイム

世界 38 タイムゾーン*の時刻を表示できます。

* スマートフォンとの接続で更新される場合があります。

● アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

● ストップウォッチ

経過時間を 1/100 秒単位 (1 時間未満)、1 秒単位 (1 時間以上) で 24 時間まで計測できます。

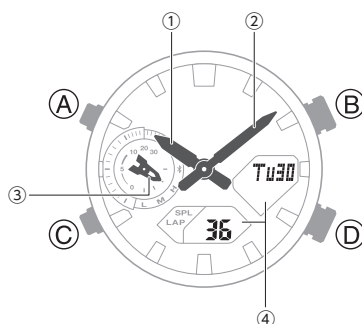
● タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



① 時計

② 分針

③ 機能針

充電量を示します。
アラーム、またはタイマーが残り 30 分以内のときは、残り時間を示します。

④ 液晶画面

A ボタン

時刻モード表示中に押すと、画面の表示切り替えができます。

B ボタン

押すと、ライトが点灯します。

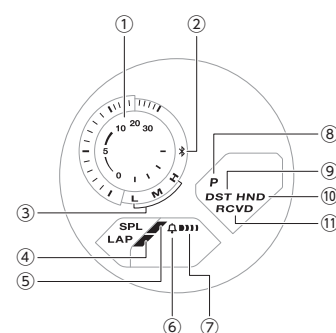
C ボタン

押すごとに、モード (機能) が切り替わります。
どのモードからでも、1 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。

D ボタン

各設定画面を表示中に押すと、設定を変更できます。

文字板と画面の表示



① カウントダウンインジケーター

アラーム、またはタイマーが残り 30 分以内になると、残り時間を示します。

② スマートフォンと接続中、機能針が  を示します。

③ バッテリー残量
機能針が充電量を示します。

④ ストップウォッチモードでラップ計測中に点灯します。

⑤ ストップウォッチモードでスプリット計測中に点灯します。

⑥ 時報がオンのときに点灯します。

⑦ アラームがオンのときに点灯します。

⑧ 12 時間制表示で午後のときに点灯します。

⑨ サマータイムのときに点灯します。

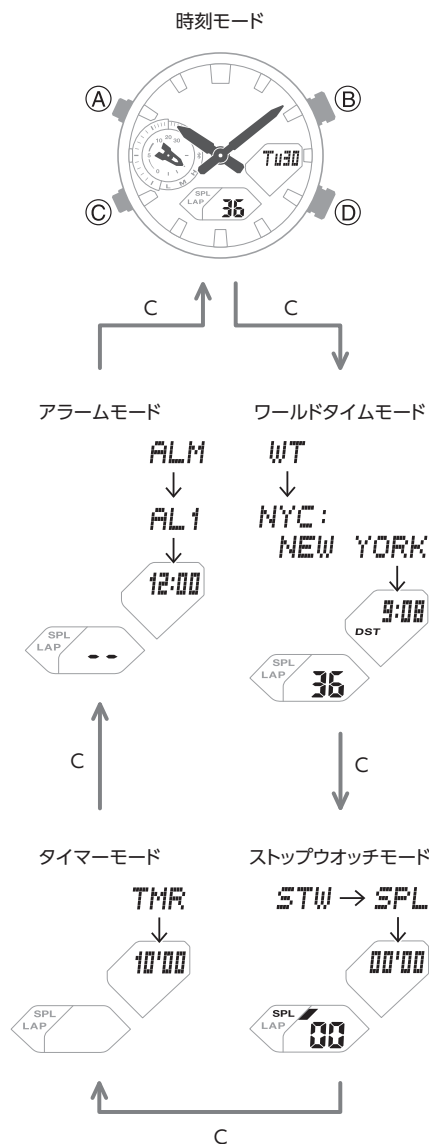
⑩ 針が退避した状態になっているときに点滅します。

⑪ スマートフォンと接続して時刻合わせに成功していると点灯します。

モードを切り替える

C ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。

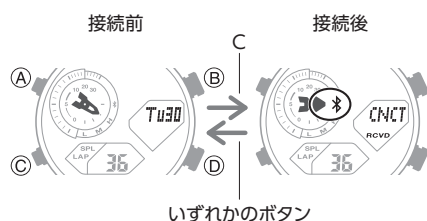
- どのモードからでも、C ボタンを 1 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。



●スマートフォンと接続する

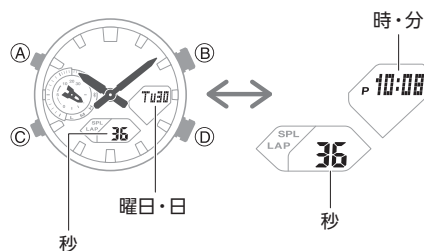
C ボタンを 3 秒以上押し続けると、スマートフォンと接続します。

- いずれかのボタンを押すと、スマートフォンとの接続が解除されます。



時刻モードの表示を切り替える

時刻モードのときに A ボタンを押すと、画面の表示が以下のように切り替わります。



針を一時的に移動する

針を一時的に移動させて、画面など他の表示を見やすくなります。

1. B ボタンを押しながら、C ボタンを押します。
- 画面が見えやすい位置に針が移動します。



2. もう一度 B ボタンを押しながら C ボタンを押す、または C ボタンを押してモードを切り替えると、針が通常の位置 (時刻表示) に戻ります。

参考

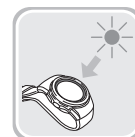
- 針が退避している状態で何も操作をしないまま約 1 時間経過すると、針は現在時刻の位置に戻ります。

充電する

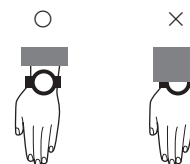
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー (二次電池) に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板 (ソーラーパネル) に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板 (ソーラーパネル) が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

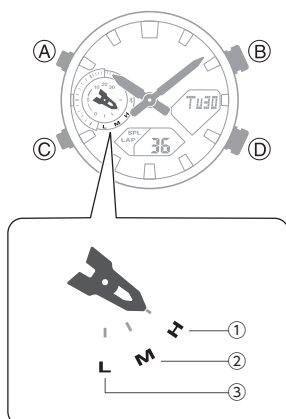


重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。
- 以下のような 60°C 以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり高温になる所

●充電量を確認する

時刻モードのとき、機能針が充電量を示します。



① 良好 (充電量 高)

② 良好 (充電量 中)

③ 充電不足

●充電不足

充電不足になると、[LOW] が点滅して、以下の機能が使用できなくなります。

- ライト点灯
- 音 (アラームなど)
- スマートフォンとの接続



さらに充電量が減ると、[CHG] が点滅し、時分針は 12 時位置で停止します。このとき、すべての機能が使用できなくなります。



●充電切れ

液晶画面の表示が消灯します。また、データがすべて消去され、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板 (ソーラーパネル) に光を当てて速やかに充電してください。
- 電池がなくなった状態で時計を光に当てると [CHG] が点滅し始めます。時刻モードの表示に戻るまで、光に当てて充電してください。

参考

- [R] が点滅しているときは、一時的な電池消耗により、時刻表示以外の機能が使用できなくなります。
針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった



●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

光量 (ルクス)	充電時間
50,000	8 分
10,000	30 分
5,000	48 分
500	8 時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など (50,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	3 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	23 時間
充電量: 高 → 満充電	7 時間

- 晴れた日の窓際など (10,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	7 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	88 時間
充電量: 高 → 満充電	24 時間

- 曇りの日の窓際など (5,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	11 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	142 時間
充電量: 高 → 満充電	38 時間

- 蛍光灯下の室内など (500 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	140 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	—
充電量: 高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電 (パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと画面の表示が消えて、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、レベル 2 の節電状態になります。

節電レベル 1:

画面表示を消して節電します。スマートフォンと接続することはできません。

節電レベル 2:

すべての針が停止して、画面表示を消して節電します。すべての機能を使用できません。

節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く

参考

- パワーセービング機能のオン/オフを切り替えることができます。
☞ [パワーセービング機能を設定する](#)
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、LED ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

●ライトを点灯する

B ボタンを押すと、ライトが針や文字板を照らします。



- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- 針が早送りされているとき、ライトは点灯しません。
- 点灯・消灯するときに、ライトがちらつくことがあります。

●点灯時間を設定する

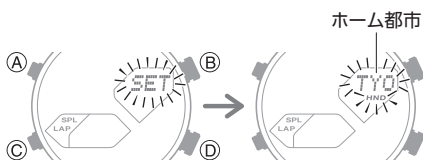
ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。

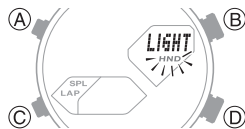
☞ モードを切り替える

2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

- セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



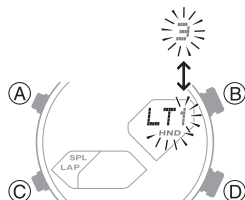
3. C ボタンを 12 回押して、[LIGHT] を表示させます。



4. D ボタンを押して、点灯時間を選びます。

[LT1] : 1.5 秒点灯します。

[LT3] : 3 秒点灯します。



5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

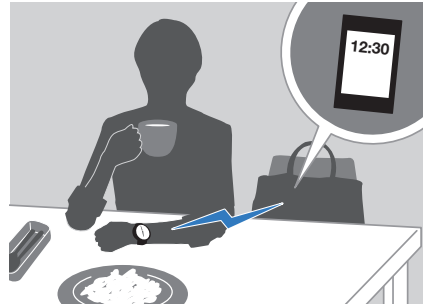
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

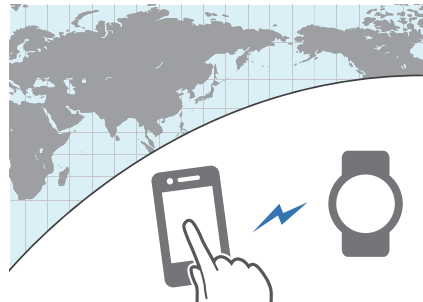
時刻を自動で合わせます

☞ 時計の時刻を自動で合わせる



300 以上の都市の中から選ぶことができます

☞ ワールドタイムを設定する



ストップウォッチデータをスマートフォンに転送できます

☞ ストップウォッチのデータを見る



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

☞ 準備する

- 時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

スマートフォンと一緒に使う

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます (モバイルリンク機能)。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
📱: 時計を操作します。
📱: スマートフォンを操作します。

準備する

スマートフォンと一緒にお使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

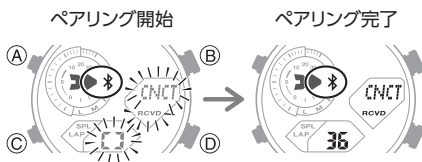
●③ ペアリングする

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
3. [マイウォッチ] タブの [+] をタップします。
4. 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。

5. [C] ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。このとき、スマートフォンと時計の時刻が合います。

- ペアリングに失敗すると、[ERR] を表示した後、時刻モードに戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。



以上でペアリングは完了です。ペアリングすると、以後はスマートフォンと時計が自動的に接続し、時計の時刻がスマートフォンの時刻と合います。

参考

- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を自動で合わせます。

●使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。時刻モードにしておけば、(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるの、そのままお使いになります。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している
 - CASIO WATCHES が終了している

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい時刻を示さない場合は、針を補正してください。
🕒 針の位置を補正する
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

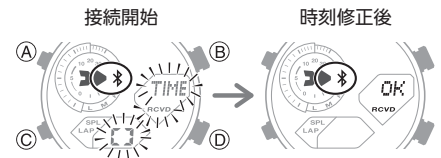
●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. [時刻モード] にします。
🕒 モードを切り替える
2. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
3. [D] ボタンを押します。

[TIME] が点滅してスマートフォンとの接続が始まります。時計と、スマートフォンが接続すると [OK] が表示された後、時刻情報を取得して時計の時刻が合います。

- このとき、現在位置がスマートフォンに記録されます。



参考

- 時刻合わせが終わると、接続が終了します。
- 時刻合わせが失敗すると、[ERR] が表示されます。
- 接続が始まると [RCVD] が点滅し、時刻合わせが完了すると、[RCVD] が点灯します。

ストップウォッチのデータを見る

時計に記録されているラップタイム(最大 200 本)などのデータをスマートフォンに転送し、CASIO WATCHES で見ることができます。

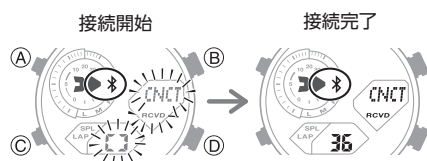
●データを転送する

時計で計測したデータをスマートフォンに転送します。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、時計で計測したデータをスマートフォンに転送します。転送が完了すると、計測データの一覧が表示されます。
 - 計測データをタップすると、詳細が表示されます。

●データを確認する

スマートフォンに転送したデータを CASIO WATCHES で確認します。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、確認したい計測データを表示します。

参考

- 「編集」をタップすると、データのタイトルを変更したり、データを削除したりできます。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。



参考

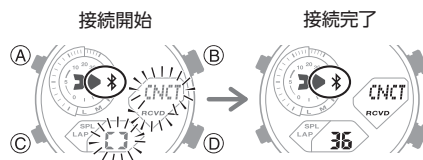
- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約 300 都市あります。
- CASIO WATCHES を使えば、時計に設定がない都市をワールドタイム都市に設定できます。これらの都市をワールドタイム都市に設定する場合は、常に CASIO WATCHES を使って設定してください。

●ワールドタイム都市を設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。

 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



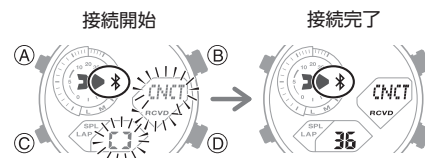
3. 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

●サマータイムを設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



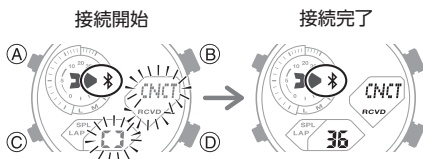
3. 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。

参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- サマータイムの切り替え期間は、サマータイム期間一覧で確認できます。

●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。

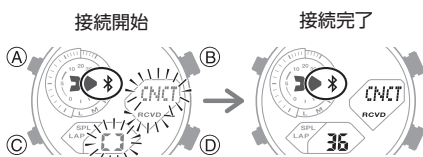
参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻修正を行いません。

針の位置を補正する

自動時刻修正をしても針の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針の位置を補正できます。

1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、針の位置を補正します。

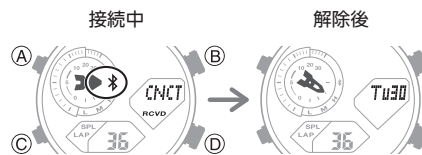
スマートフォンを探す

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます (携帯電話探索機能)。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

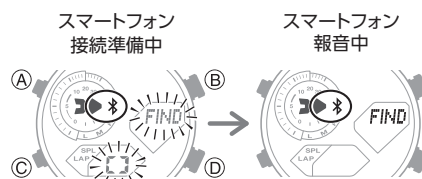
重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. 時計が時刻モード以外のモードの場合は、C ボタンを 1 秒以上押し続けて時刻モードにします。
3. D ボタンを 3 秒以上押し続け、[FIND] の点滅がゆっくりになったら指を離します。
スマートフォンと接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。
 - スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。

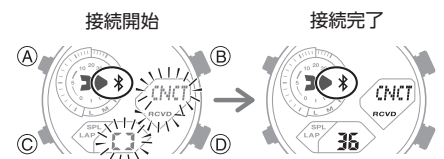


4. いずれかのボタンを押して音を止めます。
 - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

アラーム時刻やタイマー時間なども、CASIO WATCHES で設定できます。

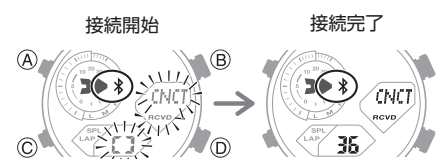
1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が * に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

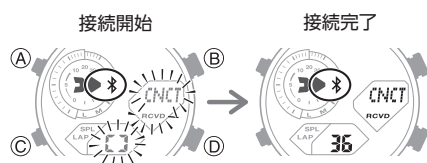
時計の充電量を確認する

CASIO WATCHES で時計の充電量を確認できます。

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が 3 に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. [CASIO WATCHES] で充電量の表示を確認します。

訪れた場所を記録する(タイム & プレイス)

旅行などで訪れた場所の位置や訪れた日時を、スマートフォンに記録できます。記録した位置情報は、CASIO WATCHES の地図で確認できます。

●現在位置を記録する

1. 時刻モードにします。
○モードを切り替える
2. 記録したい場所で D ボタンを押します。
ボタンを押した場所の緯度、経度、日時がスマートフォンに記録されます。
 - 記録に成功すると [OK] を表示し、記録に失敗すると [ERR] を表示します。
 - このとき、スマートフォンと時計の時刻が合います。

●訪れた場所を地図で確認する

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。

参考

- 記録した位置情報は、CASIO WATCHES を操作して消去できます。

接続

時計とスマートフォンを接続する

この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。

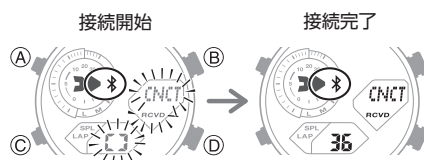
○③ ペアリングする

●スマートフォンと接続する

1. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. C ボタンを 3 秒以上押し続け、[CNCT] が点滅し、機能針が 3 に移動したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



重要

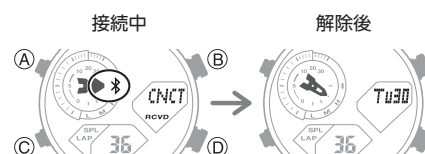
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で [CASIO WATCHES] アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され時刻モードに戻ります。



ペアリングを解除する

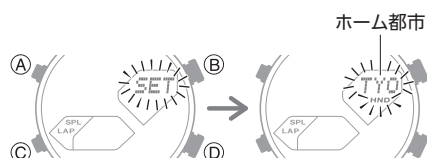
時計とスマートフォンのペアリングを解除するには、CASIO WATCHES の操作と時計の操作が必要です。

●CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

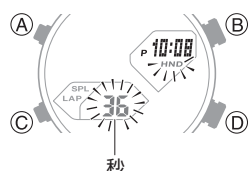
●時計のペアリング情報を削除する

1. **C** ボタンを 1 秒以上押し続けて時刻モードにします。
2. **A** ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. **C** ボタンを 2 回押します。

「秒」が点滅します。



4. **B** ボタンを 3 秒以上押し続け、[PAIR] と [CLR] の交互表示から [CLR] のみの点灯に変わったら指を離します。
時計からペアリング情報が削除され、時刻の表示に戻ります。



5. **A** ボタンを押して時刻モードに戻ります。

スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

- 時計のペアリング情報を削除する
- ③ ペアリングする

時刻を合わせる

この時計は、スマートフォンと接続して日付や時刻を合わせることができます。

重要

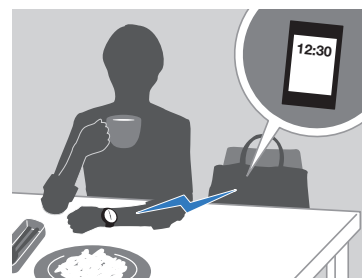
- 飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場所では、スマートフォンとの接続を無効にしてください。
- 病院内、飛行機内で使うとき

以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。

- 準備する
- 時計の時刻を自動で合わせる



接続できるスマートフォンがない場合

接続できるスマートフォンがない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。

- 時計を操作して時刻を合わせる



時計を操作して時刻を合わせる

スマートフォンと接続できない場合などに、時計を操作して日付や時刻を合わせます。

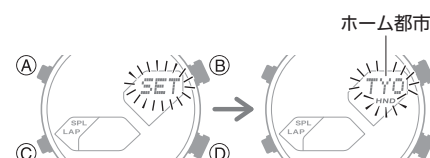
●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

参考

- 各都市のサマータイムの初期設定 (工場出荷時の状態) は [AUTO] です。多くの場合、[AUTO] であれば、設定を変更する必要はありません。
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

1. 時刻モードにします。
● モードを切り替える
2. **A** ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. **B** または **D** ボタンを押して、ホーム都市を変更します。

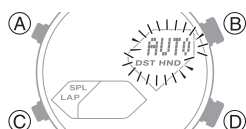
- **B** または **D** ボタンを押し続けると、早送りできます。
- ホーム都市については、下記をご覧ください。
● 都市一覧

4. C ボタンを押します。

5. D ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。

D ボタンを押すごとに、以下の順で設定が切り替わります。

- [AUTO]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
常にサマータイムで表示します。



6. A ボタンを押して、設定を終了します。

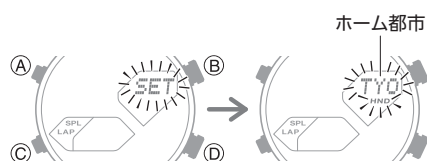
●日時を設定する

1. 時刻モードにします。

🔄 モードを切り替える

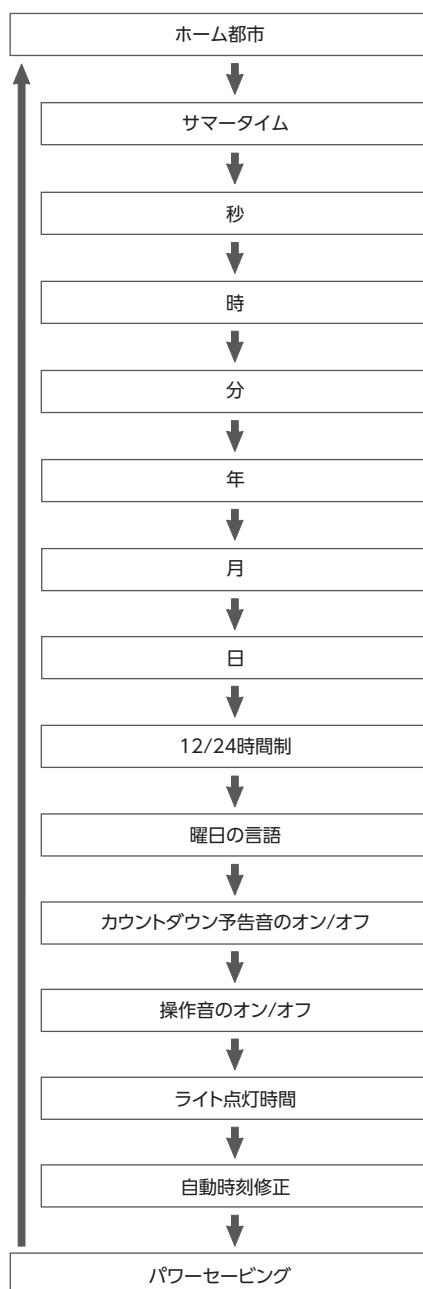
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

- セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. C ボタンを押して、変更したい値を点滅させます。

- C ボタンを押すごとに、以下の順番で点滅する値が切り替わります。



4. 日時を変更します。

- 「秒」を設定する場合: D ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。30~59 秒のときは、1 分繰り上がります。
- それ以外の値を設定する場合: B または D ボタンで値を変更します。B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

5. 手順 3, 4 を繰り返して、日時を設定します。

6. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

●12 時間制/24 時間制を切り替える

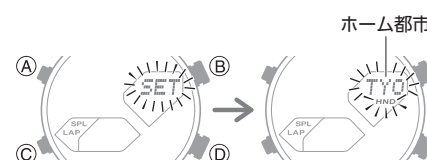
時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。

🔄 モードを切り替える

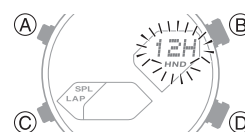
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

- セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。

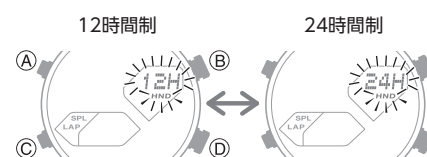


3. C ボタンを 8 回押します。

[12H] または [24H] が点滅します。



4. D ボタンを押して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。



5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

病院内、飛行機内で使うとき

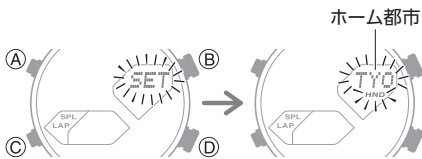
病院内や飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻修正を無効にできます。自動時刻修正を有効に戻すときも同じ操作です。

1. 時刻モードにします。

☞ モードを切り替える

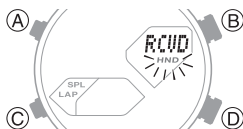
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。

- セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. C ボタンを 13 回押します。

[RCVD] が表示されます。



4. D ボタンを押して、自動時刻修正の設定を変更します。

[OFF]: 自動時刻修正を無効にします。

[ON]: 自動時刻修正を有効にします。

5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 自動時刻修正の設定は、スマートフォンとペアリングした時計でのみ変更できます。
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

ワールドタイム

世界 38 都市と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってワールドタイム都市を設定することもできます。

☞ ワールドタイムを設定する

参考

- CASIO WATCHES でのみ設定できるワールドタイム都市は、時計の操作では設定できません。

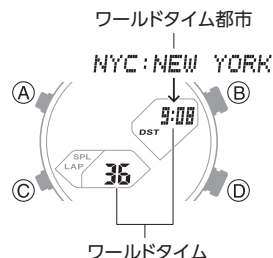
ワールドタイムを確認する

1. ワールドタイムモードにします。

☞ モードを切り替える

現在設定しているワールドタイム都市が表示された後、その都市の時刻が画面に表示されます。

- A ボタンを押すと、再度ワールドタイム都市を表示できます。



ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定できます。

参考

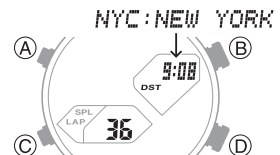
- 各都市のサマータイムの初期設定 (工場出荷時の状態) は [AUTO] です。多くの場合、[AUTO] であれば、設定を変更する必要はありません。

1. ワールドタイムモードにします。

☞ モードを切り替える

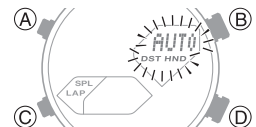
2. D ボタンを押して、設定する都市を表示します。

- D ボタンを押し続けると、早送りできます。



3. サマータイムの設定を変更する場合は、A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在のサマータイム設定が点滅したら指を離します。

- セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



4. D ボタンを押して、サマータイムの設定を変更します。

D ボタンを押すごとに、以下の順で設定が切り替わります。

- [AUTO]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
常にサマータイムで表示します。

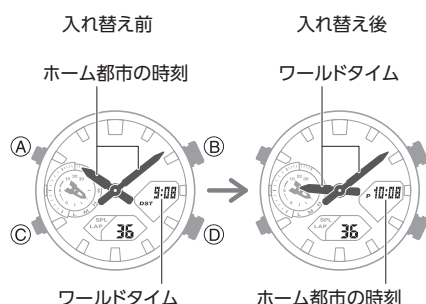
5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2～3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えることはできません。
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定後に時計を操作して都市を変更した場合、時計からその都市の情報は消去されます。
🔗 [ワールドタイムを設定する](#)

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻を入れ替える

ワールドタイムモードで A と B ボタンを同時に押すと、ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。



参考

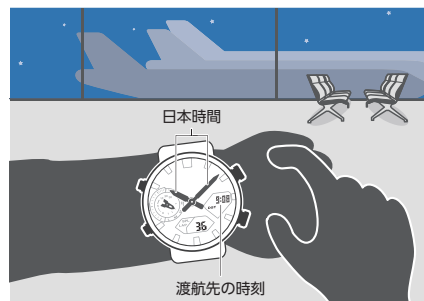
- 海外に渡航するときに、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は下記をご覧ください。
🔗 [海外に渡航するときは](#)

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

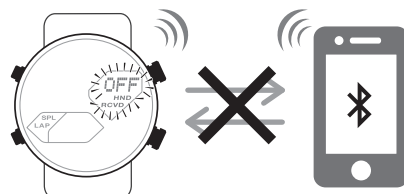
● 搭乗前

1. 渡航先の時刻をワールドタイムに設定します。



- 🔗 [CASIO WATCHES で設定する場合](#)
- 🔗 [時計を操作して設定する場合](#)

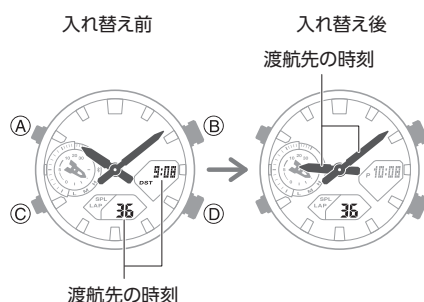
2. 自動時刻修正を無効にします。



- 🔗 [病院内、飛行機内で使うとき](#)

● 到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



- 🔗 [CASIO WATCHES で設定する場合](#)
- 🔗 [時計を操作して設定する場合](#)

2. 自動時刻修正を有効にします。
🔗 [病院内、飛行機内で使うとき](#)
3. 時刻を合わせます。
🔗 [すぐに時刻を合わせたい](#)

アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。アラームを 5 つ設定できます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)



CASIO WATCHES でアラームをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってアラームを設定することもできます。

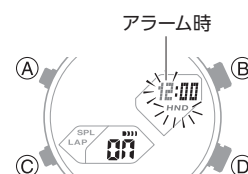
- 🔗 [時計の各種機能を設定する](#)

アラームをセットする

1. アラームモードにします。
🔗 [モードを切り替える](#)
2. D ボタンを押して、セットしたいアラームの番号 ([AL1]～[AL5]) を表示させます。

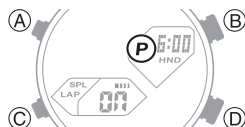


3. A ボタンを 2 秒以上押し続け、「時」が点滅したら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。
 - 設定画面で、何も操作せず 2～3 分間経過すると、セット状態が解除されます。



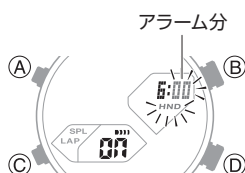
4. B または D ボタンを押して「時」を合わせます。

- B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] が表示されます。



5. C ボタンを押します。

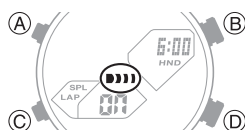
「分」が点滅します。



6. B または D ボタンを押して「分」を合わせます。

7. A ボタンを押して、設定を終了します。

- アラームをセットすると、[] (アラーム) が点灯します。



●アラームを止めるには

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

参考

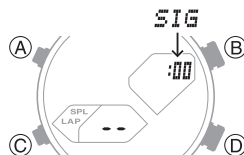
- 設定した時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
- アラームモードで、約 2~3 分間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

時報をセットする

1. アラームモードにします。

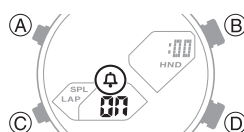
○モードを切り替える

2. D ボタンを押して、時報 ([SIG]) を表示させます。



3. A ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。

- オンにすると、[] (時報) が点灯します。



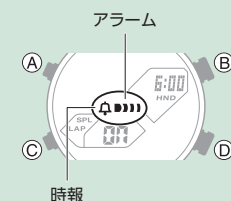
アラームや時報を解除する

アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

参考

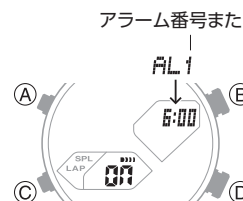
- 1 つ以上のアラームまたは時報をオンにすると、該当する表示が点灯します。
- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。



1. アラームモードにします。

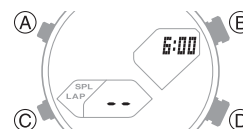
○モードを切り替える

2. D ボタンを押して、設定をオフにしたいアラームの番号 ([AL1]~[AL5]) または時報 ([SIG]) を表示させます。



3. A ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。

- A ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。
- オフにすると、[] (アラーム) または [] (時報) が消灯します。

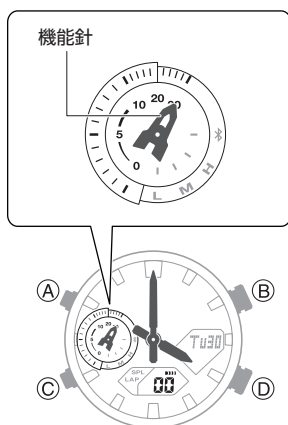


参考

- [] (アラーム) が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、[] (アラーム) が消灯するまで手順 2, 3 を繰り返してください。

アラームのカウントダウン表示

設定したアラーム時刻の 30 分前にカウントダウン予告音が鳴り、機能針がアラーム設定時刻までの残り時間を示します。



参考

- カウントダウン予告音のオン/オフ設定ができます。
 ☞ カウントダウン予告音をオフにする
- アラームとタイマーが両方カウントダウンしているときは、タイマーのカウントダウンを示します。

ストップウォッチ

計測開始から 1 時間は 1/100 秒単位で、それ以降は 1 秒単位で最大 24 時間計測できます。通常の計測に加えて、スプリットやラップも計測できます。



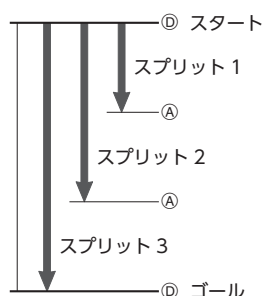
参考

- スプリットタイムとラップタイムは、最大 200 本保存できます。保存したデータが 200 本を超えると、古いデータから自動で消去されます。
- 計測したデータを残したい場合は、スマートフォンにデータを転送してください。
 ☞ ストップウォッチのデータを見る

スプリットタイムとラップタイムについて

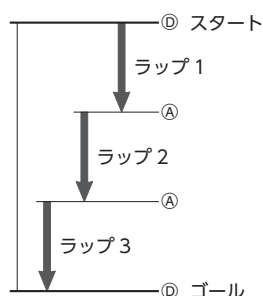
●スプリットタイム

スタートから任意の地点までの経過時間です。



●ラップタイム

トラック 1 周など、一定区間ごとの経過時間です。



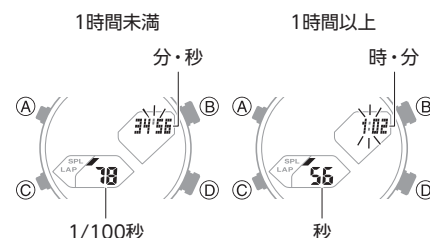
計測する

1. ストップウォッチモードにします。
 ☞ モードを切り替える

2. 以下の操作で計測します。

① スタート
 ↓
 ② ストップ
 ↓
 ③ 再スタート
 ↓
 ④ ストップ

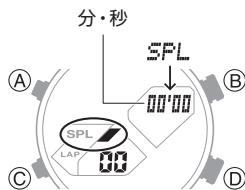
- 計測開始から 1 時間までは、1/100 秒単位で経過時間を表示します。1 時間以降は、1 秒単位で表示します。



3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

スプリットタイムを計測する

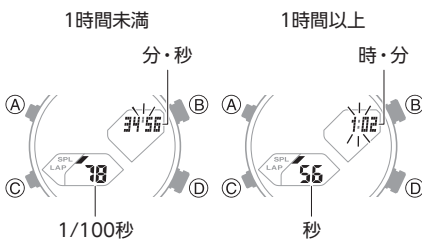
- ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
 - ストップウォッチで計測中の場合は、手順 2 の操作をする前に D ボタンを押して計測をストップし、A ボタンを押してリセットしてください。
- A ボタンを押して、[SPL] を表示させます。
 - A ボタンを押すごとに、[SPL] (スプリットタイム) と [LAP] (ラップタイム) が切り替わります。



- 以下の操作で計測します。
 - A ボタンを押すと、その時点までの経過時間 (スプリットタイム) と [SPL] が交互に約 8 秒間表示されます。

① スタート
↓
② スプリット
↓
③ ストップ

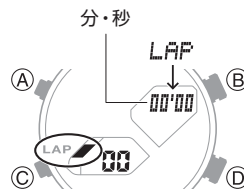
- 計測開始から 1 時間までは、1/100 秒単位で経過時間を表示します。1 時間以降は、1 秒単位で表示します。



- A ボタンを押して、計測をリセットします。

ラップタイムを計測する

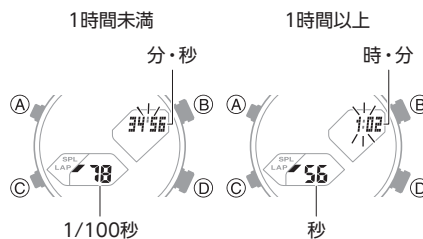
- ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
 - ストップウォッチで計測中の場合は、手順 2 の操作をする前に D ボタンを押して計測をストップし、A ボタンを押してリセットしてください。
- A ボタンを押して、[LAP] を表示させます。
 - A ボタンを押すごとに、[SPL] (スプリットタイム) と [LAP] (ラップタイム) が切り替わります。



- 以下の操作で計測します。
 - A ボタンを押すごとに、区間ごとの経過時間 (ラップタイム) とストップウォッチ番号が交互に約 8 秒間表示されます。

① スタート
↓
② ラップ
↓
③ ストップ

- 各区間の計測開始から 1 時間までは、1/100 秒単位で経過時間を表示します。1 時間以降は、1 秒単位で表示します。



- A ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 充電不足のときは音が鳴りません。



CASIO WATCHES でタイマーをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってタイマーの時間を設定することもできます。

◯ **時計の各種機能を設定する**

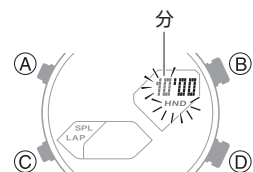
時間を設定する

タイマーは、1 秒単位で 60 分まで設定できます。

- タイマーで計測中の場合は、タイマーをリセットしてください。

◯ **タイマーを使う**

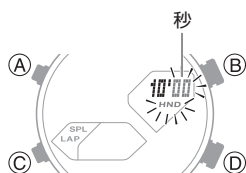
- タイマーモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、「分」が点滅したら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



- B または D ボタンを押して、タイマーの「分」を設定します。
 - B または D ボタンを押し続けると、早送りできます。

4. C ボタンを押します。

「秒」を設定できるようになります。



5. B または D ボタンを押して、タイマーの「秒」を設定します。

6. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- [00'00] に設定した場合は 60 分計測になります。
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

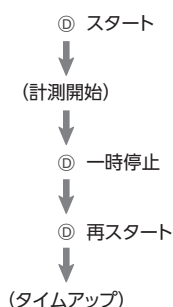
タイマーを使う

1. タイマーモードにします。

🕒 モードを切り替える



2. 以下の操作で計測します。

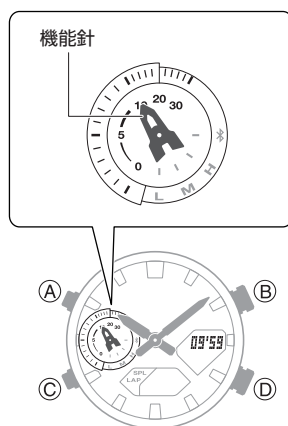


- 残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
 - 一時停止中に A ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

タイマーのカウントダウン表示

タイマーが残り 30 分になるとカウントダウン予告音が鳴り、機能針がタイマーの残り時間を示します。

- タイマーの設定が 30 分以内の場合、予告音は鳴りません。



参考

- カウントダウン予告音のオン/オフ設定ができます。
🕒 カウントダウン予告音をオフにする
- アラームとタイマーが両方カウントダウンしているときは、タイマーのカウントダウンを示します。

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻とデジタル表示の時刻が合わなくなることがあります。そのようなときは、針の位置を補正します。

CASIO WATCHES で針の位置を補正する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使って針の位置を補正することもできます。

🕒 針の位置を補正する

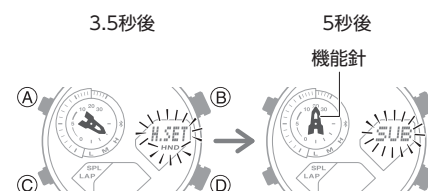
針の位置を補正する

1. 時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える

2. A ボタンを 5 秒以上押し続け、[SUB] が点滅したら指を離します。

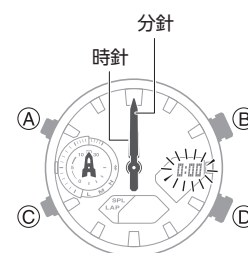
機能針を補正できるようになります。



3. 機能針が 12 時位置になっていないときは、B または D ボタンを押して機能針を 12 時位置に合わせます。

4. C ボタンを押します。

時分針を補正できるようになります。



5. 時分針が 12 時位置になっていないときは、B または D ボタンを押して時分針を 12 時位置に合わせます。

6. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 針の位置を補正中、何も操作せず 2~3 分間経過すると、時刻モードに戻ります。

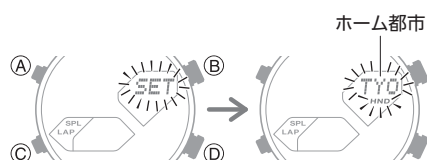
その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

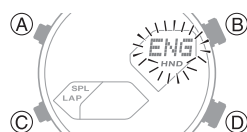
曜日表示の言語を設定する

時刻モードで表示される曜日の言語を 6 か国語から選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。
Q モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. C ボタンを 9 回押します。
言語表示が点滅します。



4. D ボタンを押して、言語を選びます。

[ENG]: 英語
[ESP]: スペイン語
[FRA]: フランス語
[DEU]: ドイツ語
[ITA]: イタリア語
[PyC]: ロシア語

5. A ボタンを押して、設定を終了します。

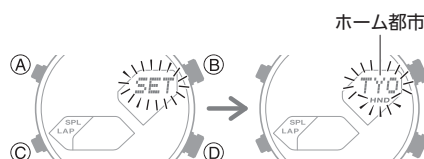
参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

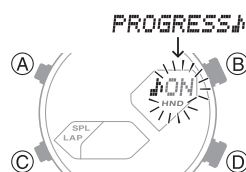
カウントダウン予告音をオフにする

アラームまたはタイマーが残り 30 分のときに鳴るカウントダウン予告音のオン/オフを設定できます。

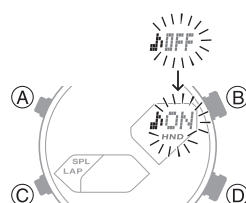
1. 時刻モードにします。
Q モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. C ボタンを 10 回押します。
[PROGRESS ♪] を表示した後に、[♪ON] または [♪OFF] が点滅します。



4. D ボタンを押して、[♪ON] または [♪OFF] を選びます。
[♪ON]: 予告音が鳴ります。
[♪OFF]: 予告音が鳴りません。



5. A ボタンを押して、設定を終了します。

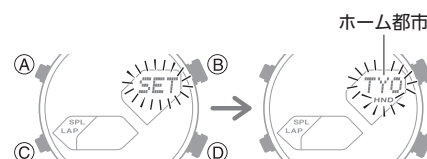
参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。

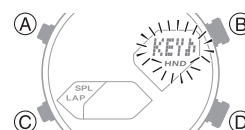
ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

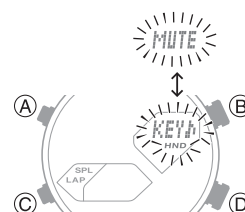
1. 時刻モードにします。
Q モードを切り替える
2. A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



3. C ボタンを 11 回押します。
[KEY ♪] または [MUTE] が点滅します。



4. D ボタンを押して、[KEY ♪] または [MUTE] を選びます。
[KEY ♪]: 操作音が鳴ります。
[MUTE]: 操作音が鳴りません。



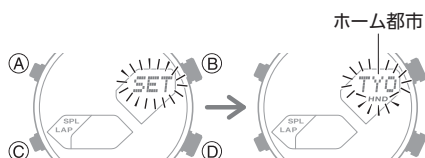
5. A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

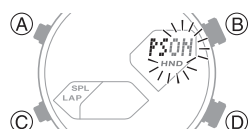
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

パワースーピング機能を設定する

- 時刻モードにします。
🕒 **モードを切り替える**
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



- C ボタンを 14 回押します。
[PSON] または [PSOF] が表示されます。



- D ボタンを押して、オンとオフを切り替えます。
[PSON]: パワースーピング機能がオンになります。
[PSOF]: パワースーピング機能がオフになります。
- A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

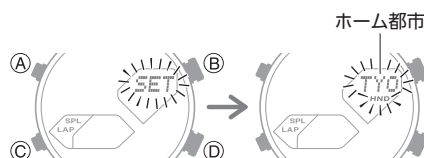
- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- パワースーピング機能については、下記を参照してください。
🕒 **節電 (パワースーピング機能)**

時計の設定をリセットする

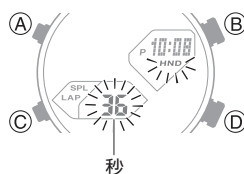
時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- ストップウォッチ
- タイマー
- アラーム

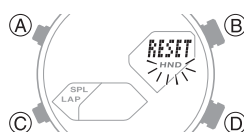
- 時刻モードにします。
🕒 **モードを切り替える**
- A ボタンを 2 秒以上押し続け、現在設定しているホーム都市が表示されたら指を離します。
 - セット状態に入ると、自動的に針が退避し、画面など他の表示が見やすくなります。



- C ボタンを 2 回押します。
[秒] が点滅します。



- B ボタンを 7 秒以上押し続け、[ALL] と [RESET] の交互表示から [RESET] のみの点灯に変わったら指を離します。



- A ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 設定画面で、何も操作せず 2~3 分間経過すると、セット状態が解除されます。
- 時計をリセットすると、時計からスマートフォンのペアリング情報が削除され、スマートフォンとのペアリングが解除されます。

仕様一覧

精度:

スマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差 ±15 秒

基本機能:

アナログ部
時・分 (20 秒進針)
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日
午前/午後 (P)/24 時間制表示
フルオートカレンダー (2000~2099 年)
サマータイム設定

ワールドタイム機能:

世界 38 都市 (38 タイムゾーン) と協定世界時 (UTC) の時刻を表示
サマータイム設定機能
ホームタイム都市入れ替え機能

ストップウォッチ機能:

計測単位
1/100 秒 (1 時間未満)
1 秒 (1 時間以上)
計測範囲 23 時間 59 分 59 秒
計測機能
通常計測、スプリット計測、ラップ計測

タイマー機能:

計測単位 1 秒
計測範囲 60 分
時間セット単位 1 秒
時間セット範囲 1 秒~60 分
タイムアップを 10 秒間の電子音で報知
カウントダウン予告音

アラーム機能:

時刻アラーム
アラーム数
5 本 (カウントダウン予告音付き)
セット単位
時・分
アラーム報音時間 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

モバイルリンク機能：

- 自動時刻修正機能
 - 決まった時刻に自動で時計を合わせる
- ワンタッチ時刻修正
 - 手動で接続して時刻を合わせる
- 携帯電話探索機能
 - 時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす
- ワールドタイム
 - 約 300 都市の時刻を時計に設定する
 - ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能
- サマータイム自動切り替え機能
 - スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
- タイマー設定
- アラーム設定
- ストップウォッチデータ転送機能
 - 1/1000 秒ストップウォッチ：
 - 計測データ 200 本 (計測年月日時刻、ラップ/スプリットタイム、ラップ番号)
- 針位置補正機能
- タイム&プレイス
- 通信仕様
 - Bluetooth®
 - 周波数帯域 2400MHz~2480MHz
 - 最大送信電力 0dBm (1mW)
 - 通信距離 ~2m (環境により変化)

ダブル LED ライト：

- 文字板用 LED ライト (スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え (1.5 秒/3 秒) 付き)
- LCD 部用 LED バックライト (スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え (1.5 秒/3 秒) 付き)

その他：

- パワーセービング機能、バッテリーインジケーター表示、曜日言語設定機能、自動時刻修正オン/オフ、操作音オン/オフ、針退避機能、カウントダウン予告音のオン/オフ

使用電池：

- 二次電池 CTL920
- 公称電圧 2.3V
- 持続時間 約 7 か月
- 使用条件：
 - 自動時刻修正 4 回/日
 - アラーム 1 回 (10 秒間)/日
 - ライト点灯 1 回 (1.5 秒)/日
 - パワーセービング 6 時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市		UTC からの時差
UTC	協定世界時	0
LON: LONDON	ロンドン	0
PAR: PARIS	パリ	+1
ATH: ATHENS	アテネ	+2
JED: JEDDAH	ジェッダ	+3
THR: TEHRAN	テヘラン	+3.5
DXB: DUBAI	ドバイ	+4
KBL: KABUL	カブール	+4.5
KHI: KARACHI	カラチ	+5
DEL: DELHI	デリー	+5.5
KTM: KATHMANDU	カトマンズ	+5.75
DAC: DHAKA	ダッカ	+6
RGN: YANGON	ヤンゴン	+6.5
BKK: BANGKOK	バンコク	+7
HKG: HONG KONG	香港	+8
EUC: EUCLA	ユークラ	+8.75
TYO: TOKYO	東京	+9
ADL: ADELAIDE	アデレード	+9.5
SYD: SYDNEY	シドニー	+10
LDH: LORD HOWE ISLAND	ロードハウ島	+10.5
NOU: NOUMEA	ヌーメア	+11
WLG: WELLINGTON	ウェリントン	+12
CHT: CHATHAM ISLAND	チャタム島	+12.75

都市		UTC からの時差
TBU: NUKUALOFA	ヌクアロファ	+13
CXI: KIRITIMATI	キリスマス島	+14
BAR: BAKER ISLAND	ベーカー島	-12
PPG: PAGO PAGO	パゴパゴ	-11
HNL: HONOLULU	ホノルル	-10
NHV: MARQUESAS ISLANDS	マルキーズ諸島	-9.5
ANC: ANCHORAGE	アンカレジ	-9
LAX: LOS ANGELES	ロサンゼルス	-8
DEN: DENVER	デンバー	-7
CHI: CHICAGO	シカゴ	-6
NYC: NEW YORK	ニューヨーク	-5
YHZ: HALIFAX	ハリファックス	-4
YYT: ST. JOHN'S	セントジョンズ	-3.5
RIO: RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	-3
FEN: F. DE NORONHA	フェルナンド・デ・ノローニャ	-2
RAI: PRAIA	プライア	-1

- この表は 2025 年 1 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。その場合、スマートフォンと接続すると、時計のタイムゾーン情報が最新の状態に更新されます。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を[AUTO]にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なることがあります。その場合は、スマートフォンと接続すると、ホーム都市とワールドタイム都市の新しいサマータイムの情報が時計に送られます。スマートフォンと接続しない場合は、手動でサマータイムの設定を切り替えてください。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
ロンドン	3月最終日曜 1 時	10月最終日曜 2 時
パリ	3月最終日曜 2 時	10月最終日曜 3 時
アテネ	3月最終日曜 3 時	10月最終日曜 4 時
テヘラン	3月 22 日または 3月 21 日の 0 時	9月 22 日または 9月 21 日の 0 時
シドニー、 アデレード	10月第 1 日曜 2 時	4月第 1 日曜 3 時
ロードハウ 島	10月第 1 日曜 2 時	4月第 1 日曜 2 時
ウェリントン	9月最終日曜 2 時	4月第 1 日曜 3 時
チャタム島	9月最終日曜 2 時 45 分	4月第 1 日曜 3 時 45 分
アンカレジ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ロサンゼルス	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
デンバー	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
シカゴ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ニューヨーク	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
ハリファックス	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時
セントジョ ンズ	3月第 2 日曜 2 時	11月第 1 日曜 2 時

- この表は 2022 年 1 月現在のものです。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- IOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続（ペアリング）できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

🔗 ① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。

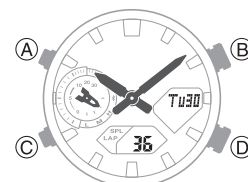


タイマーで計測中ですか？

タイマーの残り時間が 30 秒以下のときは、スマートフォンと接続できません。タイマーの計測を停止してから、スマートフォンと接続してください。

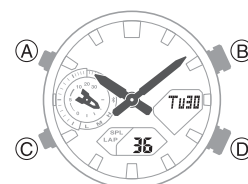
Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。



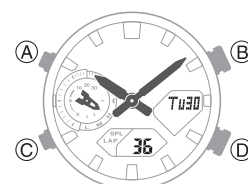
Q3 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。



Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の C ボタンを 3 秒以上押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES とスマートフォンからペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ 時計のペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

スマートフォンの機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計からペアリング情報を削除した後、接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

☞ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻修正は有効になっていますか？

自動時刻修正を無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。自動時刻修正を有効にしてください。

☞ 病院内、飛行機内で使うとき

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、正しい時刻を表示しない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

Q4 針位置がずれている

強い磁気や衝撃の影響で針の位置が合っていないことがあります。針の位置を補正してください。

☞ 針の位置を補正する

● 手動で針の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

☞ 針の補正

アラーム・時報

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

上記以外

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

☞ アラームをセットする

Q2 時報が鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

上記以外

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

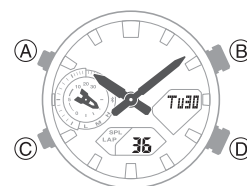
☞ 時報をセットする

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

C ボタンを 1 秒以上押し続けて、時刻モードに戻ってください。モードは C ボタンで切り替えることができます。

☞ モードを切り替える



Q2 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q3 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。

🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)

- スマートフォンと接続して時刻を修正している。

🔗 [時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q4 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q5 現在時刻の表示が 9 時間、3 時間 15 分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q6 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q7 針の時刻とデジタルの時刻が異なる

強い磁気や衝撃の影響で針の位置が合っていないことがあります。針の位置を補正してください。

🔗 [針の位置を補正する](#)

- 手動で針の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

🔗 [針の補正](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>

注意事項

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
 - 夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
 - なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
 - 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意:**
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果は上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

●液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回し、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
- 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

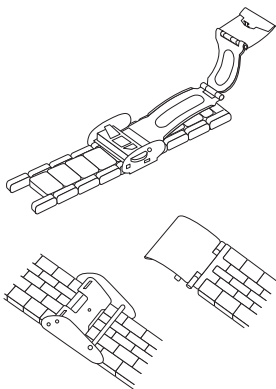
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV 機器、OA 機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

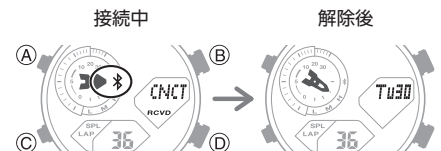
● 本機からの電波を止める必要があるときは機能針が✱を示しているとき、本機は電波を発信しています。

また、上記の状態ではないときでも、1日4回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める

いずれかのボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



- 自動時刻修正を無効にする
CASIO WATCHES で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受すること考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH,FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
 3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にお問い合わせください。